

保護者アンケート結果（藤山台小学校）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり保護者の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年5月19日（月）から6月6日（金）まで	
対象者	藤山台小学校に通っている児童の保護者	坂下、藤山台、高森台、石尾台、岩成台中学校区内の公私立保育園、私立幼稚園の園児のうち、藤山台小学校に通学する予定の児童の保護者
実施手法	学校から保護者への連絡システム「Home&School」から回答	各園から保護者への連絡システム又はQRコード付きチラシから回答
児童数	337人	—
Home&School 通知数	381人	—
回答数	127人	53人
回答率	33.3%	—

◆報告書に使用されている略語の説明

- ・「全体」は、「就学」と「未就学」の回答の合計
- ・「就学」は、藤山台小学校に通っている児童の保護者の回答
- ・「未就学」は、坂下、藤山台、高森台、石尾台、岩成台中学校区内の公私立保育園、私立幼稚園の園児のうち、藤山台小学校に通学する予定の園児の保護者の回答

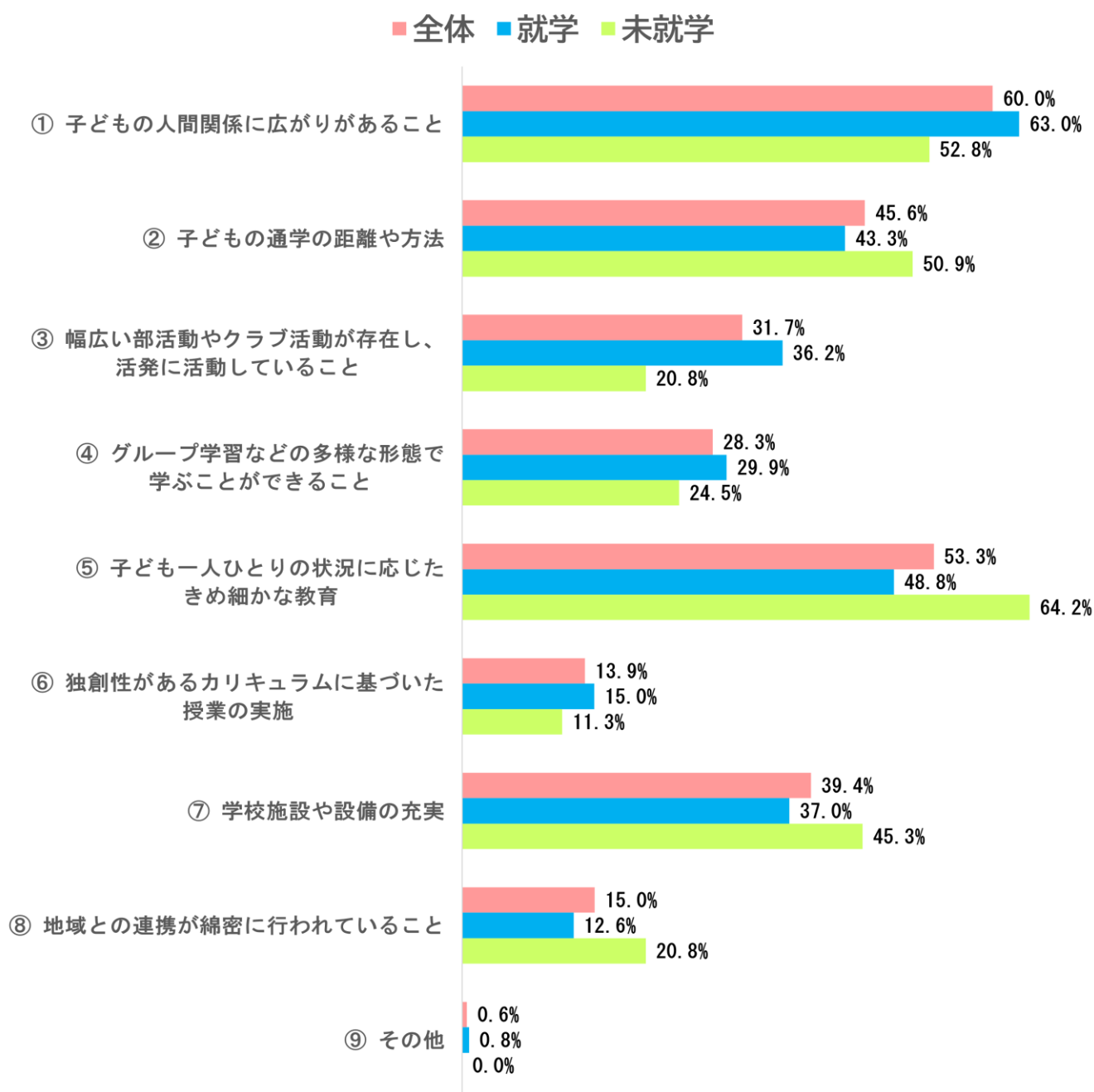
子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3 つまで)

●回答結果の概要

①、⑤、②の順に多く選ばれています。

回答した保護者の多くが、学校生活での子どもたちの人間関係が充実していること、子どもたちに個別最適な学習が提供されること、子どもたちの登下校が安全安心にできることなどを学校に期待しています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



「⑨ その他」の回答

◆就学児

・包括的な意味で安全が確保されていること

1学年当たりの学級数は何学級が望ましいと思いますか。次の項目から選択してください。(1つ)

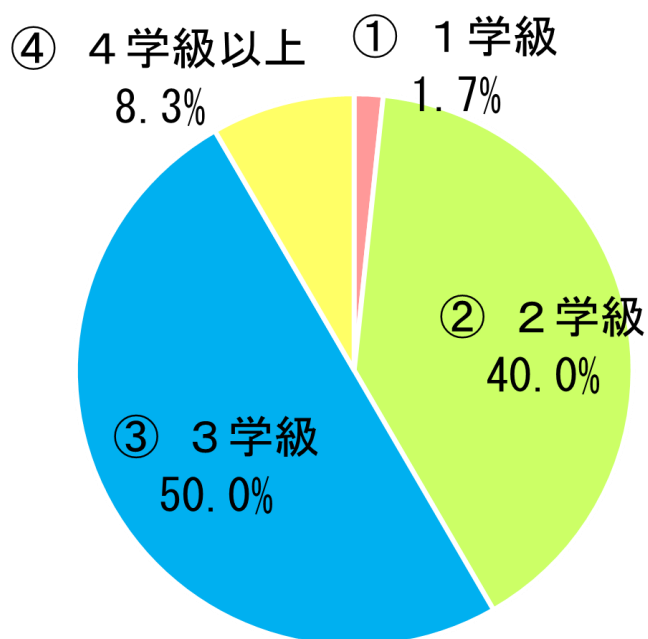
●回答結果の概要

藤山台小は現在、全ての学年が2学級です。

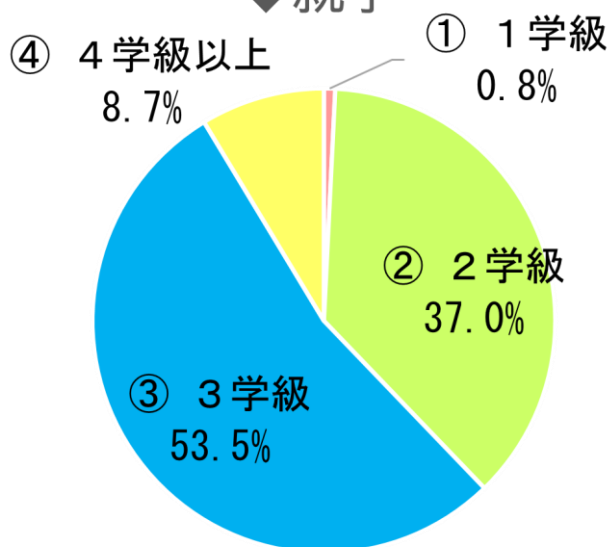
保護者の98.3%が複数学級を望ましいと考えており、「③ 3学級」を望む割合が一番高くなっています。

「就学」と「未就学」を比較すると、3学級以上を望む割合は「就学」が高くなっています。

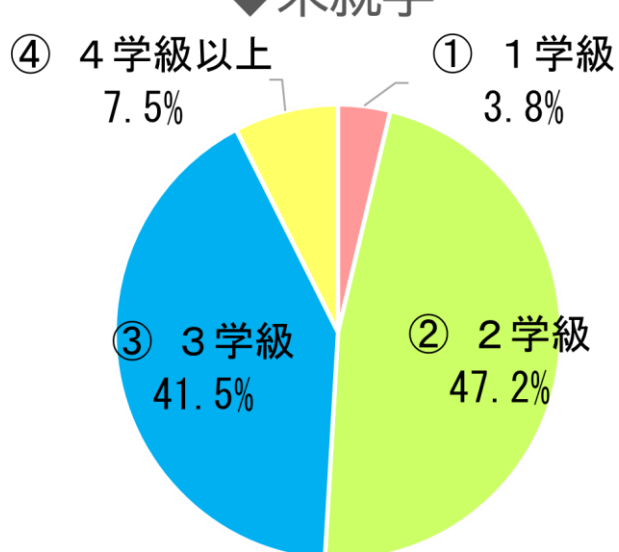
◆全体



◆就学



◆未就学



各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じることにについて、次の項目から選択してください。
(3つまで)

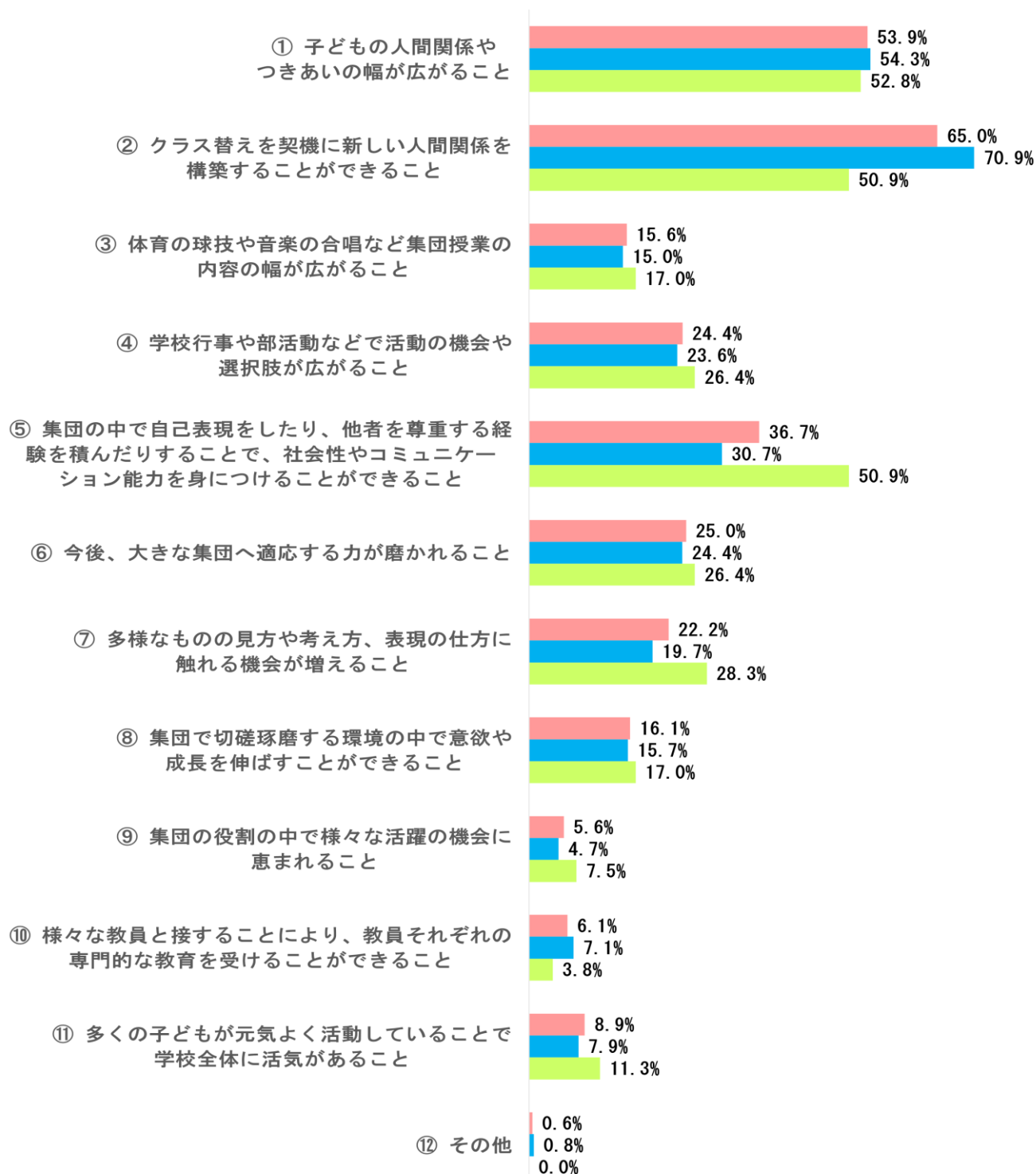
●回答結果の概要

選択項目②、①、⑤の順で選ばれています。

回答した保護者の多くは、1学年あたりの学級数が多いことが、子どもたちの人間関係に好影響を与えるとともに、多くの同級生と関わることで社会性やコミュニケーション能力を身に付けることができると思っています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の結果となっています。

■全体 ■就学 ■未就学



3 「⑫ その他」の回答

◆就学児

- ・少ないほうが、個々にきめ細かい指導をして頂けると考えます。

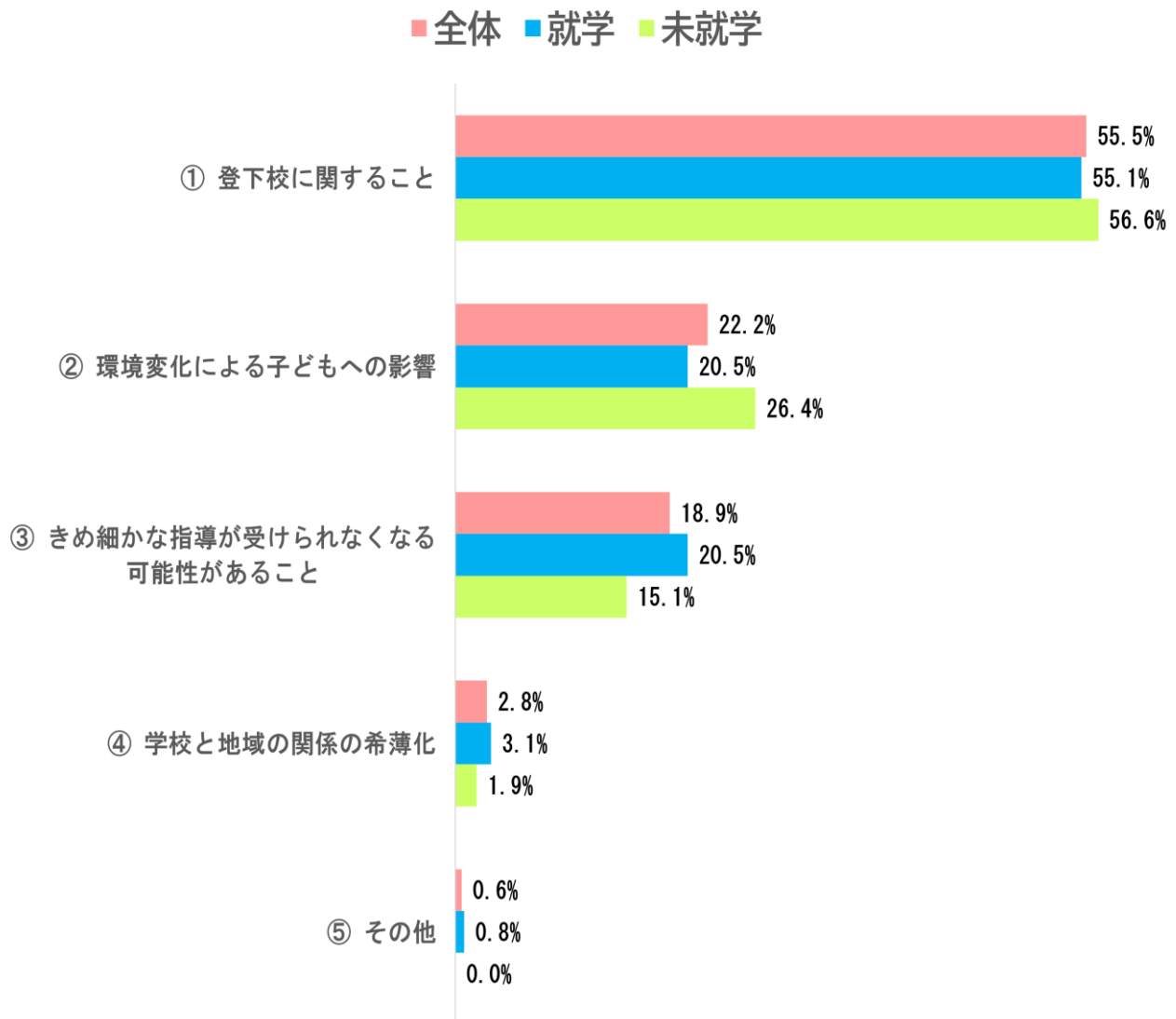
4

魅力ある学校づくりのために、学校の規模や配置を見直す場合、心配なことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

学校の規模や配置を見直す場合、通学路の変更や通学距離の延長の可能性が考えられることから、55.5%の方が「① 登下校に関すること」を心配と考えています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



「⑤ その他」の回答

◆就学児

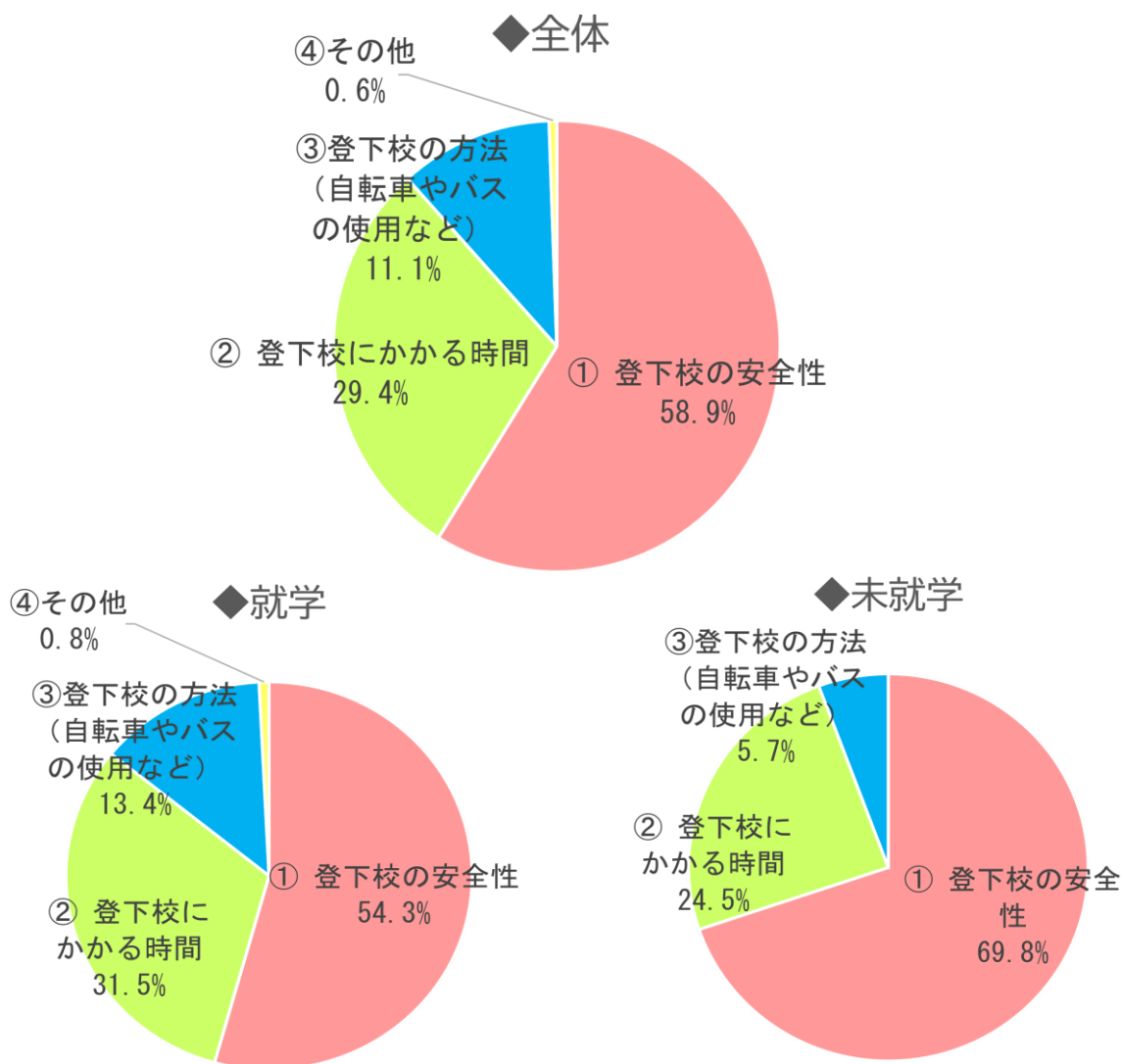
- ・包括的な意味での安全の確保。

学校の規模や配置を見直す場合、登下校に関して最も重要だと思うことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

58.9%の方が「① 登下校の安全性」を最も重要と考えています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



「④ その他」の回答

◆就学児

- ・過小規模になる高森台小を藤山台小に吸収すると良いと思う。登下校には循環バスの整備または自転車通学を検討してほしい。

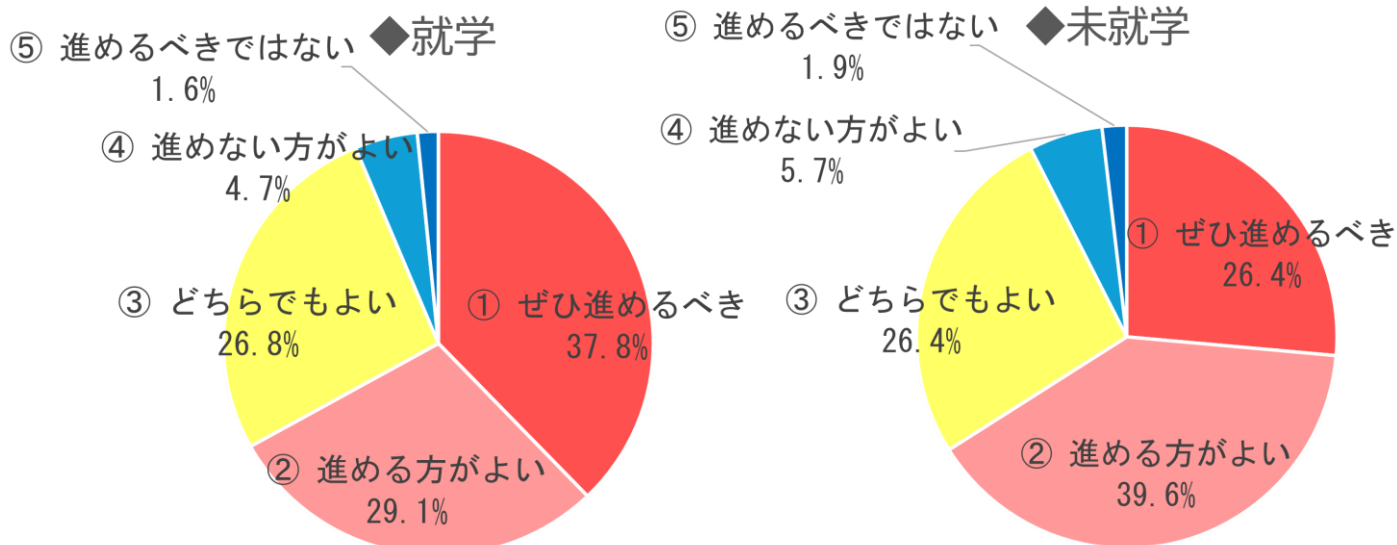
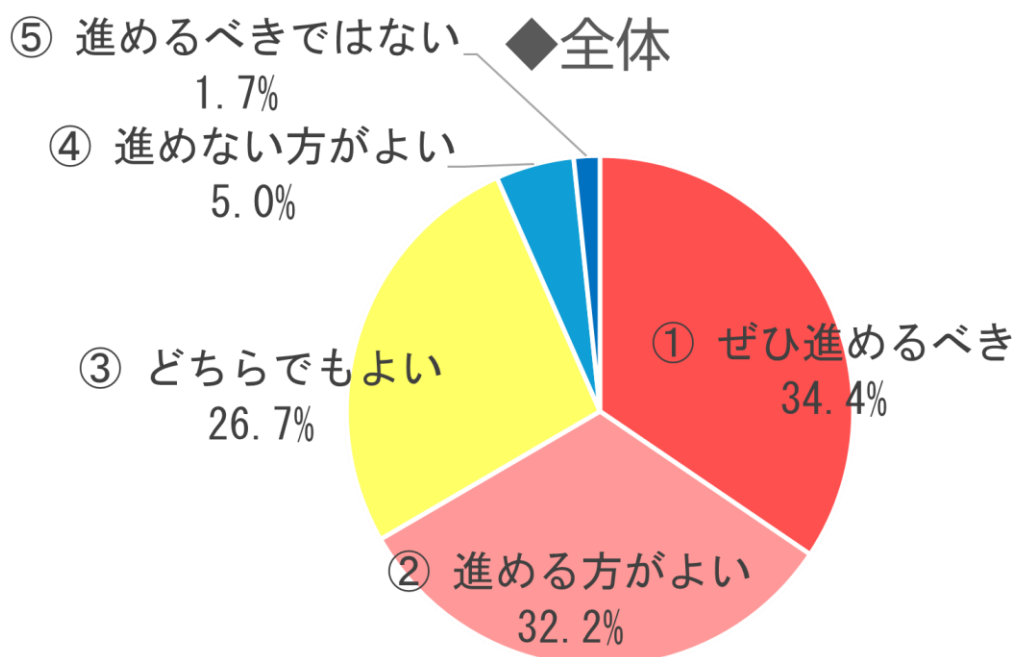
市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

66.6%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

①又は②を選んだ割合は、アンケート対象の小中学校 17 校の中で3番目に高く、また小学校 12 校の中では1番高くなっています。

「④ 進めない方がよい」を選んだ方は 5.0%、「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方は 1.7%で、市の取組みに反対の方の割合はとて低くなっています。



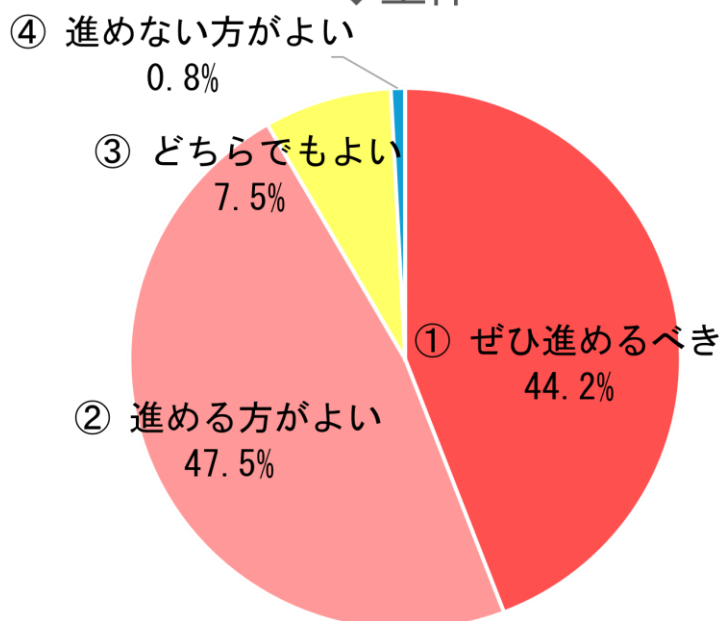
●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の91.7%が、「藤山台小学校においても学校の適正規模や配置について取り組むこと」に賛成しています。

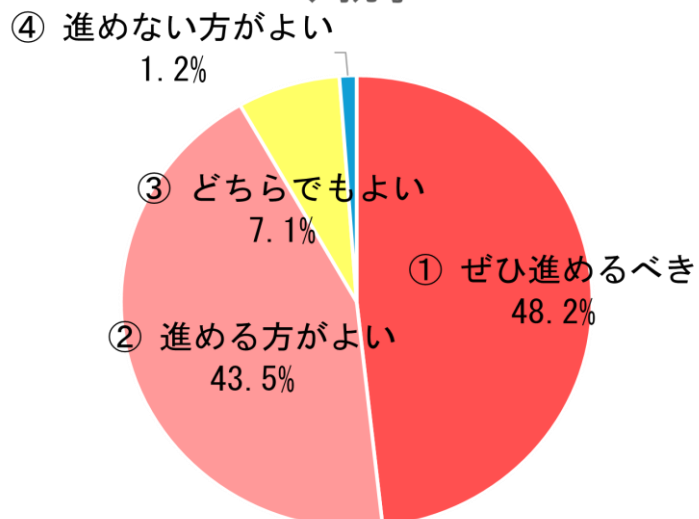
「④ 進めない方がよい」と考えている方は1人で、「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

6の質問で春日井市全体としての考え方には賛成するものの、本質問では「③ どちらでもよい」を7.5%、「④ 進めない方がよい」を0.8%の方が選択していることから、全体の回答者のうち、藤山台小について取り組むことに賛成する方は61.1%となります。

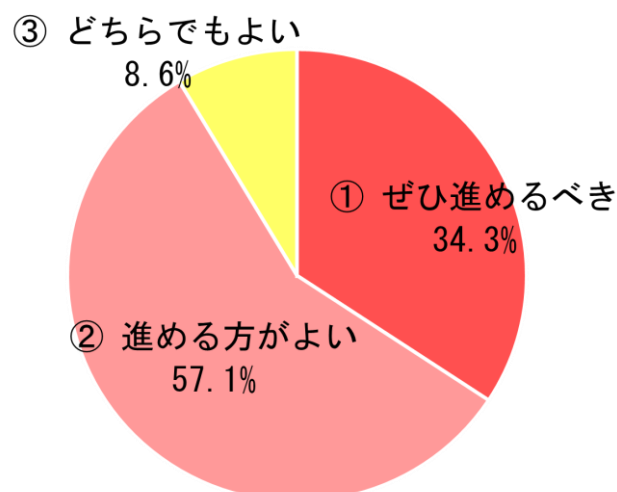
◆全体



◆就学



◆未就学

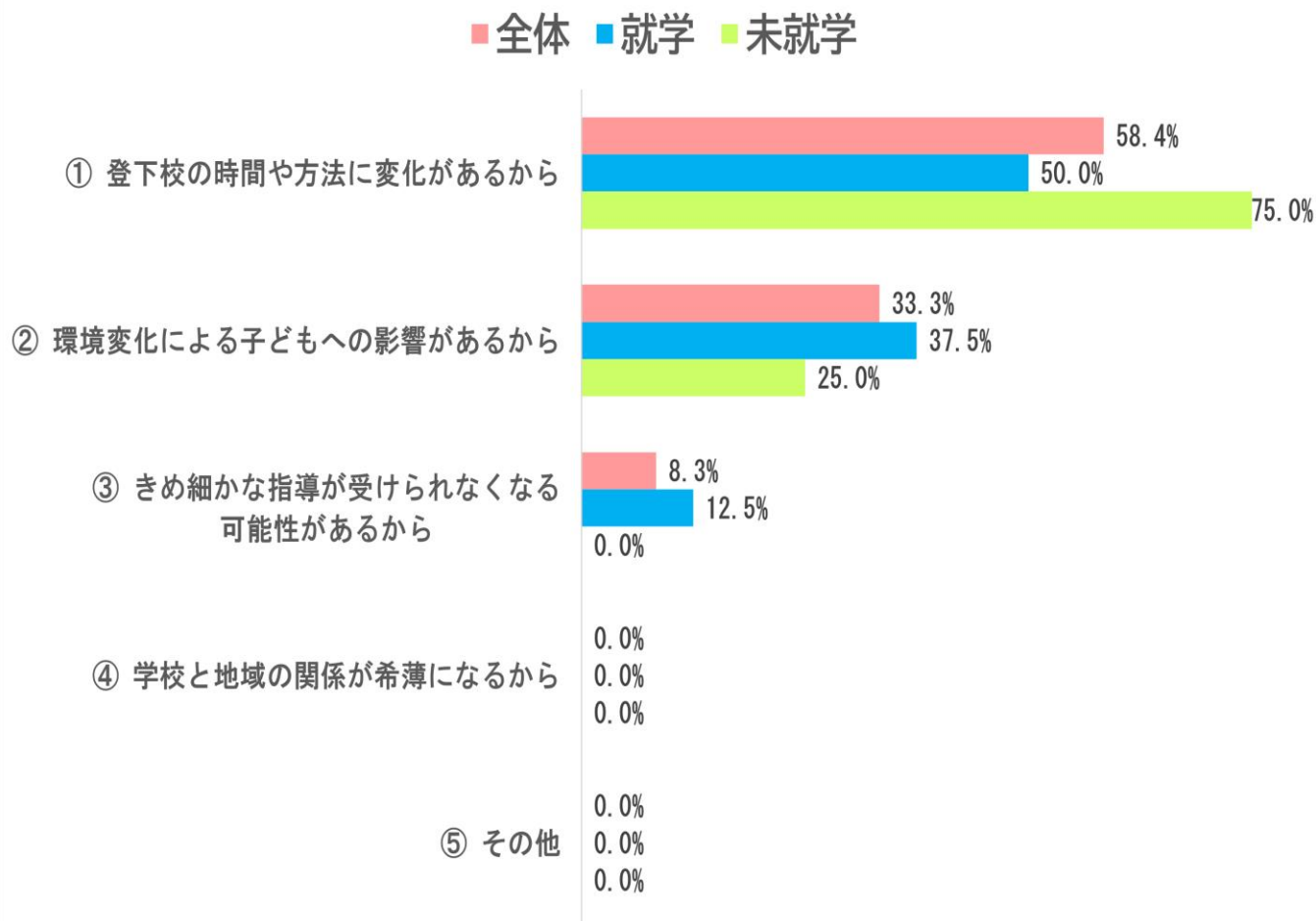


6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

問6の質問で④又は⑤を選んだ12人のうち、7人が「① 登下校の時間や方法に変化があるから」を選択しており、安全で安心できる通学方法が求められています。

「就学」と「未就学」の結果を比較すると、「未就学」では①の割合が高くなっています。

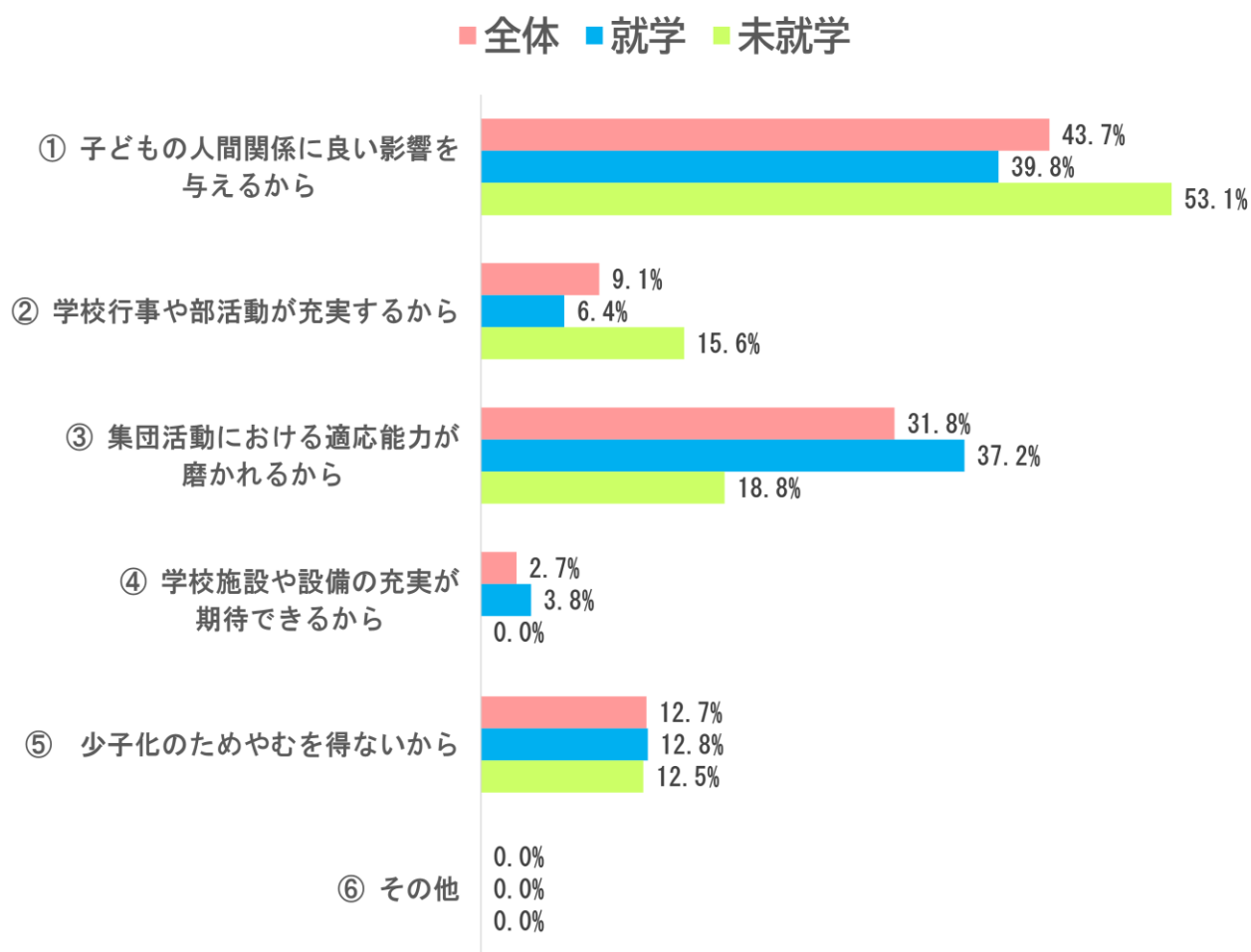


7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

選択項目①、③、⑤の順で選ばれています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

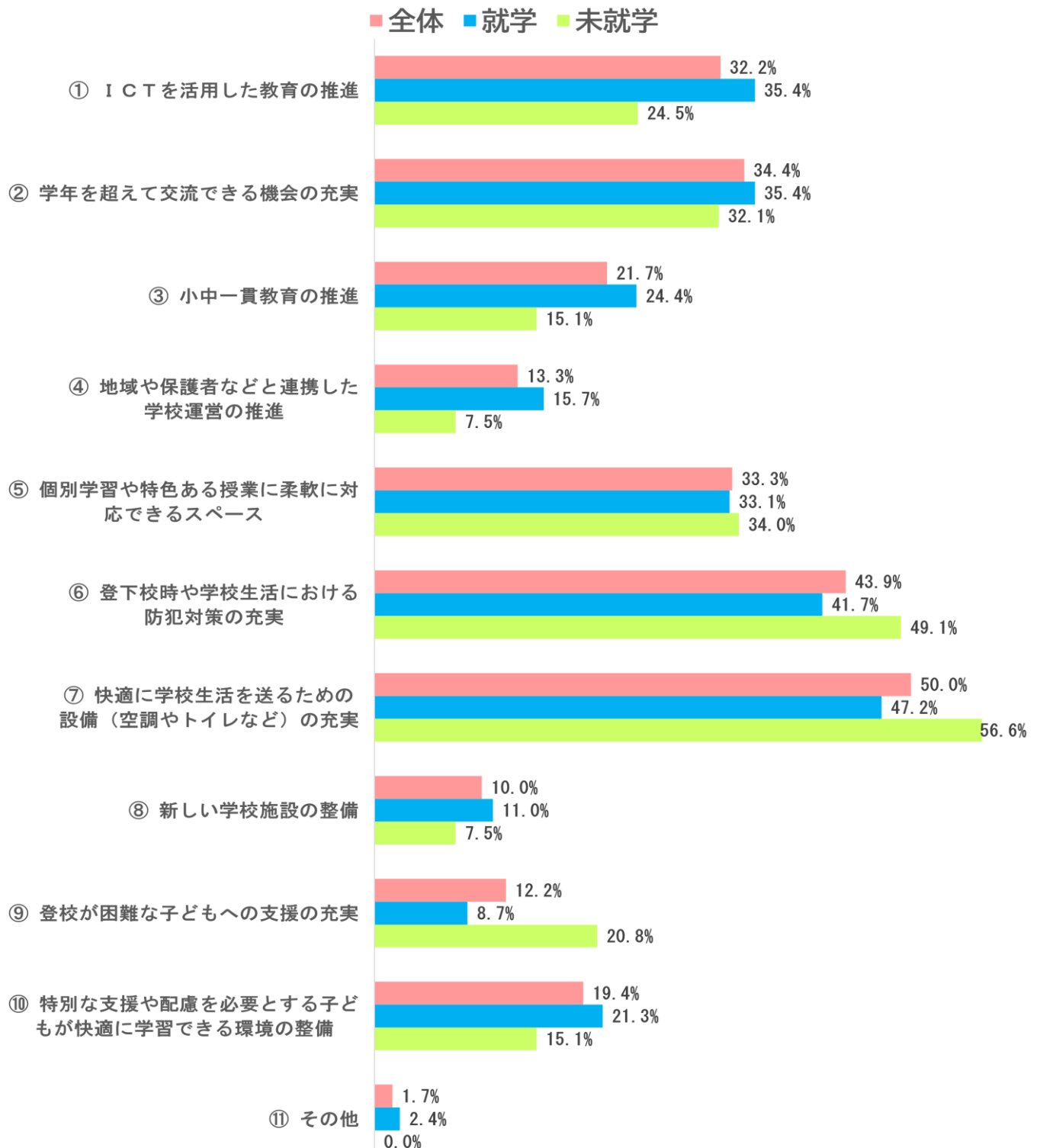
7-1の質問で「④ 進めない方がよい」が1名で、「③ きめ細かな指導が受けられなくなる可能性があるから」と考えています。

これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目⑦、⑥、②の順で選ばれています。

回答した保護者の多くが、快適に学校生活を送るための設備の充実、子どもたちの安全安心のための防犯対策の充実、別の学年の児童とも交流できる機会の充実をこれからの学校に期待しています。保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の結果となっています。



9 「⑪ その他」の回答

◆就学児

- ・個々の実力に合わせた学習。
- ・習熟度別での学習整備。
- ・中高一貫校の誘致。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp